



乾杯を
もっとおいしく。

2021年9月9日

NEWS RELEASE

サッポロビール株式会社

循環型社会に対応した 広告品類および容器包装の採用を推進

2030年までに化石燃料由来のワンウェイプラスチック製広告品類の原則廃止(注1)と
国内製造ワインのペットボトルへのリサイクル原料の使用割合50%を目指す



サッポロビール（株）は、化石燃料由来のワンウェイプラスチック製の広告品類を2030年までに原則廃止(注1)することとし、2023年までに50%削減(注2)を目指します。具体的な取り組みとして、イベントや飲食店様などで使用するプラスチック製ポリコップは紙製コップへの切り替えを推奨する他、販売に付随して使用しているワンウェイプラスチック製の広告品類を削減いたします。

また、容器包装類においては、日本国内製造ワインに使用するペットボトルについて、2030年までにリサイクル原料の使用割合50%を目指し、他のプラスチック製容器包装についても減量化や代替素材の使用等を継続的に検討していきます。

サッポログループは「サッポログループ容器包装ビジョン（注3）」を策定し、循環型社会に対応した容器包装による環境負荷の低減を目指しています。本取り組みは同ビジョンにおける具体的な取り組みのひとつであり、循環型社会の構築へこれからも貢献していきます。

(注1) 日本国内

(注2) 2019年比

(注3) サッポログループ容器包装ビジョン

<https://www.sapporoholdings.jp/csr/earth/3r/container/>

以上